

二〇一九年度中学入試出典一覧 【全国】

『 』は、出典の本のタイトル。「 」は作品名。現在不明のものは「文」とのみ記す。）

■【説明的文章】（論説文・説明文・解説文・随想・新聞のコラム等）

著者名	作品名	出題校名
青木 淳	『原っぱ遊園地』	渋谷教育幕張二次
浅田次郎	『考える葦』	慶應義塾普通部
池内 了	『科学の考え方・学び方』	東京女学館 4 回
池谷裕二	『できない脳ほど自信過剰』	専大松戸(一回)・春日部共栄②午後
池谷裕二	『脳には妙なクセがある』	聖光学院一回
泉谷玄作	『日本の花火はなぜ世界一なのか』	埼玉栄第 2 回午後
井田 齊	『魚はすごい』	巣鴨第 I 期
井田徹治	『生物多様性とは何か』	國學院久我山一回午前
伊藤公一朗	『データ分析の力』	開智 1 回
稲垣栄洋	『雑草はなぜそこに生えているのか』	大妻一回・青山学院横浜英和 A・浦和実業第 1 回午後・開智未来①・城北埼玉二回
稲垣栄洋	『植物はなぜ動かないのか』	公文国際 B・吉祥女子一回
稲垣えみ子	『アフロ記者が記者として書いてきたこと 退職したから書けたこと』	灘二日目
井上史雄	『新・敬語論 なぜ「乱れる」のか』	江戸川学園取手 2 回
今福龍太	『学問の殻を破る 世界に向けて自己を開放すること』	獨協埼玉一回
岩井克人	『おカネとコトバと人間社会』	弘学館
岩本茂樹	『自分を知るための社会学入門』	立教新座
内田 樹	『先生はえらい』	西大和学園 (県外)
内沼晋太郎	『これからの本屋読本』	学習院中等科二回
宇根 豊	『農は過去と未来をつなぐ』	栄東 A 日程・青雲
榎本博明	『「対人不安」って何だろう?』	共立女子 (2 / 2)
榎本博明	『「すみません」の国』	青山学院
榎本博明	『〈ほんとうの自分〉の作り方』	神奈川大附属 B

大竹文雄	『競争社会の歩き方』	國學院久我山（2回）
岡田暁生	『音楽の聴き方』	フェリス
岡田美智男	『弱いロボットの思考』	昭和学院秀英（1回）
小川洋子	『物語の役割』	青山学院横浜英和A
小野雅裕	『宇宙に命はあるのか 人類が旅した一千億分の八』	横浜雙葉
かこさとし	『未来のだるまちゃんへ』	桐朋一回
柏木 博	『「しきり」の文化論』	中央大学附属横浜一回
片岡一竹	『疾風怒濤精神分析入門』	東京農大一中（一回）
加藤周一	『読書術』	明大付属明治一回
加藤秀俊	『暮らしの思想』	獨協埼玉二回
加藤秀俊	『社会学 わたしと世間』	攻玉社一回
角幡唯介	『新・冒険論』	ラ・サール
門脇厚司	『子供の社会力』	埼玉栄第3回
萱野稔人	『社会のしくみが手に取るようにわかる哲学入門』	開智・先端特待
河合雅司	『未来の年表』	茗溪学園①
川井龍介	『社会を生きるための教科書』	青山学院横浜英和B
姜尚中	『君に伝えたいこと 15歳のレッスン』	武南①午前
菅野 仁	『友だち幻想』	中央大附属横浜二回・盛岡白百合(首都圏) ・星野学園(理数選抜第2回)
北村良子	『論理的思考を鍛える33の思考実験』	清泉女学院一回
くごうえり	『だれもが使えるものづくり』	埼玉栄第1回午前
工藤和男	『くらしを立てる』	大宮開成【英数特科コース】
栗山さやか	『ひとりではじめたアフリカボランティア』	日本女子大附属一回
河野哲也	『「こども哲学」で対話力と思考力を育てる』	神奈川大附属A
鴻巣友季子	『翻訳ってなんだろう？ あの名作を訳してみる』	鷗友学園女子1回
國分功一郎	『中動態の世界 意志と責任の考古学』	渋谷教育渋谷2回
小浜逸郎	『「弱者」とはだれか』	西武学園文理特選・一貫①
斎藤亜矢	『要、不要』	海城（一般①）
斎藤 環	『つながることと認められること』	春日部共栄②午前

斎藤 孝	『読書力』	開智先端A・東京女学館1回
斎藤 孝	『まねる力 模倣こそが想像である』	専大松戸(第二回)
斎藤 孝	『コメント力 「できる人」はここがちがう』	城北埼玉一回
佐倉総・ 古田ゆかり	『おはようからおやすみまでの科学』	茗溪学園推薦
佐藤友亮	『身体知性 医師が見つけた身体と感情の深いつながり』	江戸川学園取手1回
佐藤 卓	『塑する思考』	佐久長聖(東京①)
佐藤雅彦	『考えの整頓』	清泉女学院二回
沢木耕太郎	『銀河を渡る 全エッセイ』	灘一日目
真田信治	『方言は気持ちを伝える』	春日部共栄①午前
榎木野衣	『感性は感動しない 美術の見方・批評の方法』	中央大学附属一回・サレジオ学院
更科 功	『絶滅の人類史 なぜ「私たち」が生き延びたのか』	岡山白陵
汐見稔幸	『人生を豊かにする学び方』	西南学院・獨協埼玉三回・頌栄女子学院一回・麗澤第二回・逗子開成三回
白水 智	『古文書はいかに歴史をえがくのか』	桐光学園(二回)
清水義範	『行儀よくしろ。』	栄東B日程
生源寺眞一	『農学が世界を救う』	昭和学院秀英(2回)
須賀敦子	「ほめる」	共立女子(2/1)
杉浦明平	『雑草世界の近代化』	鎌倉学園2次
杉原厚吉	『スウガクって、なんの役に立ちますか?』	逗子開成一回
鈴木 透	『スポーツ国家アメリカ』	市川①
鈴木紀之	『すごい進化』	慶應湘南藤沢
瀬戸賢一	『日本語のレトリック』	明大付属明治二回
高階秀爾	『日本人にとって美しさとは何か』	浦和明の星女子一回・鎌倉学園3次
高槻成紀	『動物を守りたい君へ』	星野学園(進学第1回)
高槻成紀	『野生動物への2つの視点』	光塩女子一回(国語基礎)
高村是州	『ファッション・ライフの楽しみ方』	埼玉栄第4回
瀧野隆浩	『これからの「葬儀」の話をしよう』	江戸川学園取手1回
田口幹人	『まちの本屋、知を編み、血を継ぎ、地を耕す』	共立女子(2/1)

田中 修	『植物のひみつ』	筑波大附属・白百合学園（一般）
田中俊之	『男がつらいよ 絶望の時代の希望の男性学』	埼玉栄第1回午後
谷岡一郎	『データはウソをつく』	岡山B
谷崎潤一郎	『文章読本』	高輪A
辻 信一	『弱虫でいいんだよ』	大宮開成(特待生選抜)・湘南白百合
鶴原吉郎	『EVと自動運転 クルマをどう変えるか』	品川女子学院一回
鄭 雄一	『東大理系教授が考える道德のメカニズム』	昭和学院秀英（3回）
寺田寅彦	『天国と国防』	渋谷教育幕張一次
寺田寅彦	『科学者とあたま』	雙葉
富田啓介	『はじめて地理学』	鎌倉女学院二次
外山滋比古	『思考の整理学』	鎌倉学園1次・逗子開成二回
外山滋比古	『「マコト」より「ウソ」の法則』	城北埼玉一回
中澤二郎	『働く、なぜ』	麗澤（第一回）
中村桂子	『いのち愛づる生命誌』	春日部共栄③
中村桂子	『水も土も生き物の視点から』	早稲田学院
野矢茂樹	『語りえぬものを語る』	浦和実業 第1回午前
萩原さちこ	『凶説・戦う城の科学』	開智（未来・未来選抜A）
橋爪大三郎	『正しい本の読み方』	愛光
橋爪大三郎	『面白くて眠れなくなる社会学』	芝浦工大柏一回
橋本 治	『ちゃんと話すための敬語の本』	成蹊一回
東野圭吾	『滅びるものは滅びるままに』	東邦大附属東邦（推薦・帰国生）
樋口清之	『日本人の育ての知恵』	栄東（東大選抜Ⅱ）
日高敏隆	『春の教えかた』	星野学園（総合選抜）
日高敏隆	『動物たちの自意識』	鎌倉女学院一次
平岩時雄	『99%の人が速くなる走り方』	宮崎日本大（前期）
平川克美	『21世紀の楢岡幻想論 その日暮らしの哲学』	聖光学院二回
福岡伸一	『新版 動的平衡』	青山学院・渋谷教育渋谷3回
福岡伸一	『生物と無生物の間』	宮崎日本大（首都圏）
福島 英	『声のトレーニング』	武南①午後

藤田正勝	『日本文化をよむ 5つのキーワード』	光塩女子二回
ペーター・ ヴォールレーベン	『樹木たちの知られざる生活 森林管理官が聴いた森の声』	女子学院
保坂和志	『生きる歓び』	渋谷教育渋谷1回
前田英樹	『何のために「学ぶ」のか』	普連土学園一回
前野ウルド浩太郎	『バッタを倒しにアフリカへ』	芝二回
松原耕二	『本質をつかむ聞く力 ニュースの現場から』	横浜共立
松村圭一郎	『うしろめたさの人類学』	開成・香蘭女学校・豊島岡女子一回・青雲
正高信男	『ニホンザルのところを探る』	栄東（東大選抜Ⅰ）
宮内泰介	『歩く、見る、聞く 人びとの自然再生』	本郷一回
群ようこ	『本との距離』	巣鴨第Ⅰ期
最上敏樹	『いま平和とは』	渋谷教育渋谷1回
茂木健一郎	『化粧する脳』	春日部共栄①午後
本川達雄	『生き物は円柱形』	桐光学園（一回）
元村有希子	『気になる科学』	東邦大附属東邦（前期）
森 達也	『たったひとつの「真実」なんてない』	早稲田一回
森 毅	『まちがったっていいじゃないか』	公文国際A
森 博嗣	『孤独の価値』	芝浦工大柏二回
森 博嗣	『集中力はいらぬ』	埼玉栄 第2回午前
森 博嗣	『読書の価値』	東京都市大付属一回・立教女学院
森田良行	『気持ちを表す「基礎日本語辞典」』	佐久長聖（東京①）
森山 徹	『モノに心はあるのか』	東京農大一中（一回）
安田正美	『単位は進化する 究極の精度をめざして』	洗足学園一回
山極寿一	『ゴリラからの警告 人間社会、ここがおかしい』	桜蔭・淑徳与野一回
山口 周	『武器になる科学』	西大和学園（県内）
山口真美	『自分の顔が好きですか？「顔」の心理学』	早稲田佐賀A
山崎広子	『声のサイエンス』	栄光学園・星野学園（理数第1回）
行宗蒼一	『勉強っていやいやするもの？』	星野学園（進学第2回）
好井浩昭	『「今、ここ」から考える社会学』	大妻嵐山①

吉川 洋	『人口と日本経済』	江戸川学園取手 2 回
吉田篤弘	『京都で考えた』	桐朋二回
吉田夏彦	『なぜと問うのはなぜだろう』	開智（未来・未来選抜 B）
ロジャー・パルパース	『驚くべき日本語』	青山学院横浜英和 B
ロメオ・ダレール	『なぜ、世界はルワンダを教えなかったのか』	芝一回
脇 明子	『読む力は生きる力』	富士見一回
鷺谷いずみ	『さとやま』	開智・先端 B
若田行一	『続ける力』	佐久長聖（東京②）
渡邊格	『田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」』	世田谷学園一次
渡辺一夫	『素敵な石ころの見つけ方』	大妻二回
渡辺淳一	『読書について 断片的に』	西武学園文理特選・一貫②

■【文学的文章】(物語・随筆・紀行文)

著者名	作品名	出題校名
相沢沙呼	『雨の降る日は学校に行かない』『ねえ、卵の殻が付いている』	芝一回
赤澤竜也	『吹部!』	春日部共栄①午前
芥川龍之介	『白』	清泉女学院二回
朱川湊人	『凍蝶』	大宮開成(特待生選抜)
麻宮ゆり子	『碧と花電車の街』	國學院久我山一回午前
有川 浩	『アンマーとぼくら』	埼玉栄 第1回午前
有川 浩	『クジラの彼』	埼玉栄 第3回
有川 浩	『明日の子供たち』	早稲田一回
有島武郎	『一房の葡萄』	星野学園(進学第2回)
有吉玉青	『ソボちゃん いちばん好きな人のこと』	共立女子(2/2)
アルトゥーロ・ヴィヴィアンテ	『灯台』	慶應義塾普通部
安東みきえ	『満月の娘たち』	専大松戸(第二回)
安東みきえ	『天のシーソー』	麻布
安藤祐介	『本のエンドロール』	江戸川学園取手1回
石井桃子	『近い時計屋と遠い時計屋』	東邦大附属東邦(後期)
石川宏千花	『少年Nの長い長い旅』	埼玉栄 第2回午前
石井睦美	『連帯のメールを送る』	豊島岡女子一回
石田 千	『みどりちゃんの友だち』	東邦大附属東邦(推薦・帰国生)
伊集院静	『切子屋』	逗子開成二回
泉ゆたか	『お師匠さま、整いました』	早稲田佐賀A
乾 ルカ	『花が咲くとき』	浦和実業 第1回午前
井上 靖	『しろばんば』	開智・先端特待
今井恭子	『ぼくのわがまま宣言!』	明大付属中野一回
今江祥智	『雪の帽子』	盛岡白百合(首都圏)
岩城けい	『Masato』	渋谷教育幕張二次
岩瀬成子	『地図を広げて』	愛光・学習院女子A
上野哲也	『ニライカナイの空で』	鎌倉学園2次

魚住直子	『クマのあたりまえ』	東京都市大付属一回
梅崎春生	「魚の餌」	フェリス
大山淳子	『あずかりやさん』	慶應湘南藤沢
岡野薫子	『桃花片』	東京女学館1回
小川 糸	『つばさのおくりもの』	春日部共栄①午後
小川 糸	『キラキラ共和国』	桐朋一回
小川洋子	『キリコさんの失敗』	埼玉栄 第4回
小川洋子	「かわいそうなこと」	立教新座
荻原 浩	『空は今日もスカイ』	開成
奥田亜希子	『クレイジー・フォー・ラビット』	ラ・サール
小野寺史宣	『梅雨明けヤジオ』	浦和明の星女子一回
恩田 陸	『蜜蜂と遠雷』	栄東（東大選抜Ⅰ）
恩田 陸	『夜のピクニック』	星野学園（総合選抜）
角田光代	「ランドセル」	中央大学附属一回
梶井基次郎	「矛盾の様な真実」	西大和学園（県外）
桂 望実	『ボーイズ・ビー』	茗溪学園推薦
門井慶喜	『銀河鉄道の父』	本郷一回
川上未映子	『あこがれ』	成蹊一回
河崎秋子	『頸、冷える』	東邦大附属東邦（前期）
菊池 寛	『マスク』	東邦大附属東邦（後期）
菊池 寛	『弁財天の使』	開智・先端B
如月かずさ	『給食アンサンブル』	國學院久我山（2回）
如月かずさ	「マーボー豆腐」（『飛ぶ教室47号』）	栄東B日程
喜多川泰	『君と会えたから』	麗澤（第一回）
久保寺健彦	『青少年のための小説入門』	サレジオ学院
薫くみこ	『ぜんぶ夏のこと』	埼玉栄 第2回午後
ケストナー	『飛ぶ教室』	穎明館①
神津カンナ	『冷蔵庫が壊れた日』	灘二日目
小島陽太郎	『ぼくのとなりにきみ』	暁星

小手鞠るい	『心の森』	宮崎日本大（前期）
こまつあやこ	『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』	栄光学園・海城（一般①）・桐朋二回 鎌倉女学院二次
是枝裕和	『万引き家族』	高輪A
近藤史恵	『さいごの毛布』	聖光学院一回
佐川光晴	『大きくなる日』	青山学院
さだまさし	『ちゃんぽん食べたかった！』	獨協埼玉一回
佐藤多佳子	『サマータイム』	星野学園（理数選抜第1回）
佐藤まどか	『一〇五度』	浦和実業第1回午後・城北一回・ 横浜共立
重松 清	『デンチュウさんの傘』	埼玉栄 第1回午後
重松 清	『南小、フォーエバー』	武南①午前
下村湖人	『論語物語』	麗澤（第二回）
白岩 玄	『世界のすべてのさよなら』	昭和学院秀英（1回）
杉本りえ	『100年の木の下で』	香蘭女学校
鈴木るりか	『さよなら、田中さん』	桐光学園（一回）
須賀敦子	『アルキビアデスの笛』	市川①
瀬尾まいこ	『そして、バトンは渡された』	開智・未来・未来選抜A
瀬戸内寂聴	『青い花』	横浜雙葉
高田由紀子	『君だけのシネマ』	岡山白陵
高樓方子	『時計坂の家』	清泉女学院一回
高橋弘希	『送り火』	浅野
瀧羽麻子	『ありえないほどのるさいオルゴール店』	淑徳与野一回・栄東（東大選抜Ⅱ） 立教女学院
田ロランディ	『リクと白の王国』	湘南白百合
田中彩子	『天狗ノオト』	茗溪学園①
知野みさき	『鈴の神さま』	洗足学園一回
辻 仁成	『そこに君がいた』	青雲
辻村深月	『青空と逃げる』	大妻二回・渋谷教育渋谷3回

辻村深月	『島はぼくらと』	獨協埼玉二回
辻村深月	『家族シアター』	中央大学附属横浜二回・大妻嵐山①
		頌栄女子学院一回
辻村深月	『ロードムービー』	宮崎日本大（首都圏）
辻村深月	『サクラ咲く』	早稲田二回・鎌倉女学院一次
徳田秋声	『初奉公』	攻玉社一回
豊島ミホ	『夜の朝顔』	獨協埼玉三回
戸森しるこ	『夏と百花とカルピスト』	駒場東邦
ドリアン助川	「台風のあとで」（『多摩川物語』）	東洋英和女学院A・帰国生
中島たい子	『がっかり行進曲』	逗子開成三回
中田永一	『くちびるに歌を』	大宮開成【英数特科コース】
中田永一	『宗像くんと万年筆事件』	西武学園文理特選・一貫①
中脇初枝	『神に守られた島』	武蔵・桜蔭
梨屋アリエ	『キズナキス』	春日部共栄③
夏川草介	「五月の贈り物」	女子学院
新美南吉	「花のき村と盗人たち」	芝浦工大柏二回
西加奈子	『おまじない』	大妻一回・佐久長聖（東京②）・ 品川女子学院一回
にしがきようこ	『ピアチェーレ 風の歌声』	弘学館
似鳥 鶏	『午後からはワニ日和』	開智1回
額賀 滯	『風に恋う』	開智・未来①
額賀 滯	『完パケ！』	聖光学院二回
橋本 紡	「永代橋」（『いつかのきみへ』）	栄東A日程
馳 星周	『雨降る森の犬』	開智・未来・未来選抜B
濱野京子	『その角を曲がれば』	神奈川大附属A
葉室 麟	『さわらびの譜』	江戸川学園取手2回
原田マハ	『でーれーガールズ』	武南①午後
原田マハ	『リーチ先生』	光塩女子二回
東 直子	『いとこの森の家』	西南学院

藤岡陽子	『手のひらの音符』	中央大学附属横浜一回
藤岡陽子	『いつまでも白い羽根』	吉祥女子一回
藤野恵美	『ショコラティエ』	大妻三回
藤原新也	『名前のない花』	白百合学園（一般）
舟崎克彦	『雨の動物園』	芝二回
星 新一	『ボッコちゃん』	公文国際A
堀江敏幸	『なずな』	渋谷教育渋谷2回
堀米 薫	『林業少年』	普連土学園一回
本田有明	『メロンに付いていた手紙』	学習院中等科二回
松浦寿輝	『川の光』	東京女学館4回
水口博也	『世界の海へ、シャチを追え！』	大妻三回
光野 桃	『実りの庭』	日本女子大附属一回
美奈川護	『弾丸スタントヒーローズ』	神奈川大附属B
宮澤賢治	「クンねずみ」	芝浦工大柏一回
宮下 聰	『中学生になったら』	穎明館①
宮下奈都	『よるこびの歌』	公文国際B
宮下奈都	『つぼみ』	青山学院横浜英和B
宮下奈都	『ふたつのしるし』	星野学園（進学第1回）
室生犀星	『幼年時代』	西武学園文理特選・一貫②
村上春樹	『職業としての小説家』	浅野
村山早紀	『百貨の魔法』	岡山B
群ようこ	『豪快一路で花開け』	逗子開成一回
森 絵都	『クラスメイツ』	青山学院横浜英和A・桐光学園(二回) ・星野学園（理数選抜第2回）
森 絵都	『子供は眠る』	城北埼玉二回
森 浩美	『家族ずっと』	昭和学院秀英（3回）
森沢明夫	『ヒカルの卵』	昭和学院秀英（2回）
森谷明子	『南風吹く』	春日部共栄②午前
森埜こみち	『わたしの空と五・七・五』	鷗友学園女子1回

安田夏菜	『レイさんといた夏』	富士見一回
八束澄子	『ぼくらの山の学校』	筑波大附属
椰月美智子	『しずかな日々』	鎌倉学園1次
山田詠美	『ぼくは勉強ができない』	西大和学園（県内）
山田太一	『夕暮れの時間に』	早稲田二回
山本悦子	『犬がすきなぼくとおじさんとシロ』	学習院女子（帰国生）
唯川 恵	『淳子のでっぺん』	春日部共栄②午後・専大松戸（一回）
横沢 彰	『ナイスキャッチ！ Ⅲ』	佐久長聖（東京①）
吉田篤弘	『レインコートを着た犬』	開智・先端A
吉村 康	『父の列車』	鎌倉学園3次
吉屋信子	『鈴蘭』	早稲田学院
若竹千佐子	『おらおらでひとりでいぐも』	渋谷教育幕張一次

■【詩・短歌・俳句】(解説文を含む詩歌の出題もこちらに分類)

著者名	作品名	出題校名
岡島弘子	詩「パッチワークと刺繍」	灘二日目
白井明大	『一日の言葉 一生の言葉 旧暦でめぐる美しい日本語』(俳句)	大妻一回
財部鳥子	詩『水とモンゴル』	共立女子(2/2)
谷川俊太郎	詩「祝婚」	青山学院
日本短歌総研	『誰にも聞けない短歌の技法Q&A』	大妻二回
花森安治	詩『灯をともし言葉』	共立女子(2/1)
穂村弘・堀本祐樹	『短歌と俳句の五十番勝負』	大妻三回
三好達治	詩三編(「土」「信号」「チューリップ」)	東京都市大付属一回
吉野 弘	詩「夕焼け」	佐久長聖(東京②)
	童謡の歌詞『鯉のぼり』	雙葉
	俳句(12句)	灘一日目